

赤酢飯ー丁貝(エゾボラモドキ)

貝類の中であって、赤（酒粕）酢飯との相性は「最高です」と断言したい。これは、エッチュウバイ・梅貝の時にも、「最高」の評価をしたように記憶する。それで、どちらが「最高」なのかと問われると、どちらも「最高です」と言わざるを得ない。「いい加減なヤツ」と思われようがどう思われようが構わない。両者とも「最高です」は、譲れない。



当貝やエッチュウバイ・梅貝が全ての旨味を持ち兼ね備えているものではないことは、明らかであるし、一口で全ての旨味を堪能できる食物もあり得ない。お鮓は、酢飯とネタの組合せで成立するものである。また、お鮓は、1貫のみで成立するものでもない上に、通常、異種の何貫かを組合わせ1食として成立するものである。試食ではない。当貝やエッチュウバイ・梅貝を同時（前後問わず）に召し上がる。そんな野暮なことは、したくないし、そんな提供は、絶対あり得ない。したがって、両方とも「最高です」に至る。

とは言うものの「お鮓は、1貫のみで成立するものでもない」と述べたように、当ネタ1貫が最高であるがために、他の1貫々が踏み台にされ、最悪その1食が台無しになることも十分あり得る。それでも、あれば取り入れたい1貫であることに相違ない。